

## 日本第四紀学会の教育活動・アウトリーチ活動 Education and outreach programs of the Japan Association for Quaternary Research

植木 岳雪<sup>1\*</sup>, 遠藤 邦彦<sup>2</sup>, 百原 新<sup>3</sup>, 久保 純子<sup>4</sup>, 水野 清秀<sup>5</sup>, 目代 邦康<sup>6</sup>  
Takeyuki Ueki<sup>1\*</sup>, Kunihiko Endo<sup>2</sup>, Arata Momohara<sup>3</sup>, Sumiko KUBO<sup>4</sup>, Kiyohide Mizuno<sup>5</sup>, Kuniyasu Mokudai<sup>6</sup>

<sup>1</sup> 産業技術総合研究所地質情報研究部門, <sup>2</sup> 日本大学文理学部, 日本第四紀学会会長, <sup>3</sup> 千葉大学園芸学部, <sup>4</sup> 早稲田大学教育学部, <sup>5</sup> 産業技術総合研究所地質情報研究部門, <sup>6</sup> 自然保護助成基金

<sup>1</sup>Geological Survey of Japan, AIST, <sup>2</sup>Nihon Univ. & Assoc. Quatern. Res., <sup>3</sup>Fac. Horticulture, Chiba Univ., <sup>4</sup>School Edu., Waseda Univ., <sup>5</sup>Geological Survey of Japan, AIST, <sup>6</sup>Pro Natura Foundation

近年の地球環境問題、資源問題を解決し、持続可能で安心・安全な社会を構築するためには、市民の自然史のリベラルアーツを基礎として、リテラシーを育成することが必要である。そのためには、自然史科学の研究者は、研究のアカウンタビリティと研究分野の普及・啓蒙の両面で、アウトリーチ活動を行うことが求められる。日本第四紀学会は第四紀という一つの地質時代に関係するさまざまな分野の研究者が集まった学際的な学会であり、高等学校の理科4科目（物理、化学、生物、地学）のすべてと地歴科2科目（地理、日本史）にまたがる11の専門分野（地質学、地理学、考古学、古生物学、植物学、土壌学、地球物理学、地球化学、工学、人類学、動物学）のいずれかに学会員は所属している。また、学会員の職業は大学・研究所の研究者だけでなく、小学校・中学校・高等学校の教員、博物館等の学芸員、行政機関の職員、企業の技術者など多様である。このような、学会の特長を生かすべく、ここ数年、学会として行う教育活動・アウトリーチ活動を模索してきた。

2007年には、フィールドの活用・保全に関する公開シンポジウムを開催し、その内容は「地質ニュース」640号にまとめられた。2009年には学校教育における第四紀の新定義の普及・啓蒙のために、日本学術会議や関連学協会と協力して、第四紀の新しい定義を広く普及する公開シンポジウムを開催した。日本第四紀学会が主催したシンポジウム「自然史研究におけるフィールドの活用と保全」の内容は、第四紀研究49巻5号にまとめられた。2010年には、教育をテーマにした2つのシンポジウムを開催した。学校教育としての地学教育をテーマにしたシンポジウムの内容は2011年春に第四紀研究別冊号として刊行し、生涯教育としての自然史教育をテーマにしたシンポジウムの内容は夏に第四紀研究特集号として刊行される予定である。

日本第四紀学会が担うべき、日本第四紀学会しかできない、教育活動・アウトリーチの活動とは何であろうか？大きく分けて、1つは第四紀学の普及・啓蒙であり、もう1つは学会が個人や機関のネットワークの牽引車や接着剤としての役割を担うことと考えられる。後者については、ジオパークへの貢献、学会間のネットワークの構築、学会と学校教員や市民とのネットワークの構築のような活動を日本第四紀学会として推進すべきである。日本第四紀学会は多様な分野・職業の学会員から構成されているので、ジオパークを支援する場合には、地形・地質だけでなく、考古・人類などの人間活動や植物・動物などの自然史の観点から多様な事象や活動形態を提供できる。また、学会員のネットワークを利用して、第四紀に関連する研究系学会と教育系学会の連携や、さまざまな分野の研究者と学校教員、市民との接点を持つことができる。それは、学校教育や生涯教育に多様な人材を取り込み、活動の幅を広げることになるだろう。

キーワード: 日本第四紀学会, 学会間連携, 地学教育, 自然史教育, アカウンタビリティ, ネットワーク

Keywords: Japan Association for Quaternary Research, between-society cooperation, earth science education, natural history education, accountability, network